

(仮称) 始良市子ども館 (子育て支援拠点施設)
建設 基本設計図書 (概要版)
パブリックコメント



子育てにぬくもりと安心を

～子育ての“わ”  が広がる『ゆめエリア』～

(仮称)始良市子ども館(子育て支援拠点施設)建設 基本設計図書【概要版】

1. 設計の基本方針

(仮称)始良市子ども館は、地域の未来を託す子どもたちが、健やかに成長するために、そして子育てに携わる誰もがいきいきと輝き、安全に、また、なによりも安心して子育てができ、その恵まれた環境の中で子どもたちが伸び伸びと過ごすことができるまちづくりを象徴する施設、子育て支援の拠点となる施設として計画します。

基本設計では、(仮称)始良市子ども館(子育て支援拠点施設)整備基本計画(令和3年3月策定)に掲げる『施設整備に向けた基本的な考え方』及び『基本方針』を具現化するものとします。なお、この基本設計図書(案)には検討段階の内容も含まれており、今後の検討により変更される場合がありますので、予めご了承ください。

① ユニバーサルデザイン^{*1}を取り入れた施設

- 歩行時に滑りにくい床仕上げや段差のない通路など、誰もが安全に利用できる施設とします。
- パーキングパーミット^{*2}用駐車スペースは、雨がかりのない部分に配置し、エントランスホールへのアプローチに近い場所に配置します。また、ベビーカーなどの積み下ろしが楽に行えるよう駐車場の一部に、幅の広い「らくらくスペース」を設置します。
- 明快な施設構成と子どもの目線からも視認性のあるサイン計画とし、すべての来場者にわかりやすい計画とします。
- どの年齢層の子どもでも使いやすい、成長にあった便器を設置し、介助のしやすい幅の取れた空間としたキッズトイレや、高齢者や肢体不自由者が安心して利用できるみんなのトイレを設置します。

② 子どもと保護者の目線に立った施設

- 「あそびの場(キッズスペース)」は、年齢(月齢)に合わせた空間構成とし、遊具や家具、または低い柵などで仕切り、安全に遊べて、多様な活動の展開に柔軟に対応できる空間を構成します。
- 指詰め防止、出隅部の角処理など安全な納まりを徹底し、床材や壁材は、滑りにくく、適度な弾力性をもち十分な耐久性のある材質を使用します。
- 手の触れる場所に内装木質化を行い、温かみのある施設づくりを目指します。
- 広々と館内を見渡すことができ、こどもが安全にしかも伸び伸びと活動できる空間形状とします。
- 外部からの来訪者を確認でき、不審者の侵入を抑制することのできる施設計画や、死角となる場所がなくなる計画とします。
- 感染症拡大防止対策として、機械換気を適材適所に配置し、子どもに危険を伴わず職員がスムーズに窓の開閉ができるようにし、安全な「空気の流れ」をデザインします。
- 内部はホコリが溜まりにくく、除菌・清掃しやすい材料やしつらえとし、シックハウスに配慮した家具、フォスター^{*3}の建材を使用します。

③ 利用者が使いやすい施設

- 限られた敷地の中で、施設を効率的に配置し、人が集う開放的な空間を確保できる、「1階駐車場2階施設の配置」を提案します。また、豪雨災害時の浸水被害を防ぎます。
- 機能をすべて2階のワンフロアに構成し、水平動線だけの見通しのよい配置とします。
- 2階に上がってすぐの場所に受付を配置し、利用者の出入りの把握や、施設の案内を行います。
- 子育て世帯や関係者が、子育てに関する不安や悩みについて気軽に相談できるよう、相談室や相談カウンターを設置します。
- 5つの相談室を内容や状況によって、使い分けができるようにパターン分けを行います。また、保護者が気構えることなく、子どもが不安にならないよう出入口を考慮した配置計画をします。

④ 環境に配慮し、ぬくもりを感じる持続可能な施設

- 始良の自然(風・光・熱・水)がもつエネルギーを活用したうえで、高効率設備を無駄なく運転し、快適な環境を実現します。
- 地場産材、県産材の材料を採用し、運搬などにかかるCO2排出量を削減します。
- 既存物産館の廃材を、製材し直し、内装材や遊具などへの再利用を検討します。
- 地場産のメアサ杉(蒲生杉)や加治木石の利用促進と普及を目指して、適材適所への採用を検討します。
- 空間を仕切る材料は、乾式とし将来の変化に応じて変更可能になるよう、改修整備を行いやすいよう、長期間建物を有効活用できるものとします。

2. 配置・平面計画

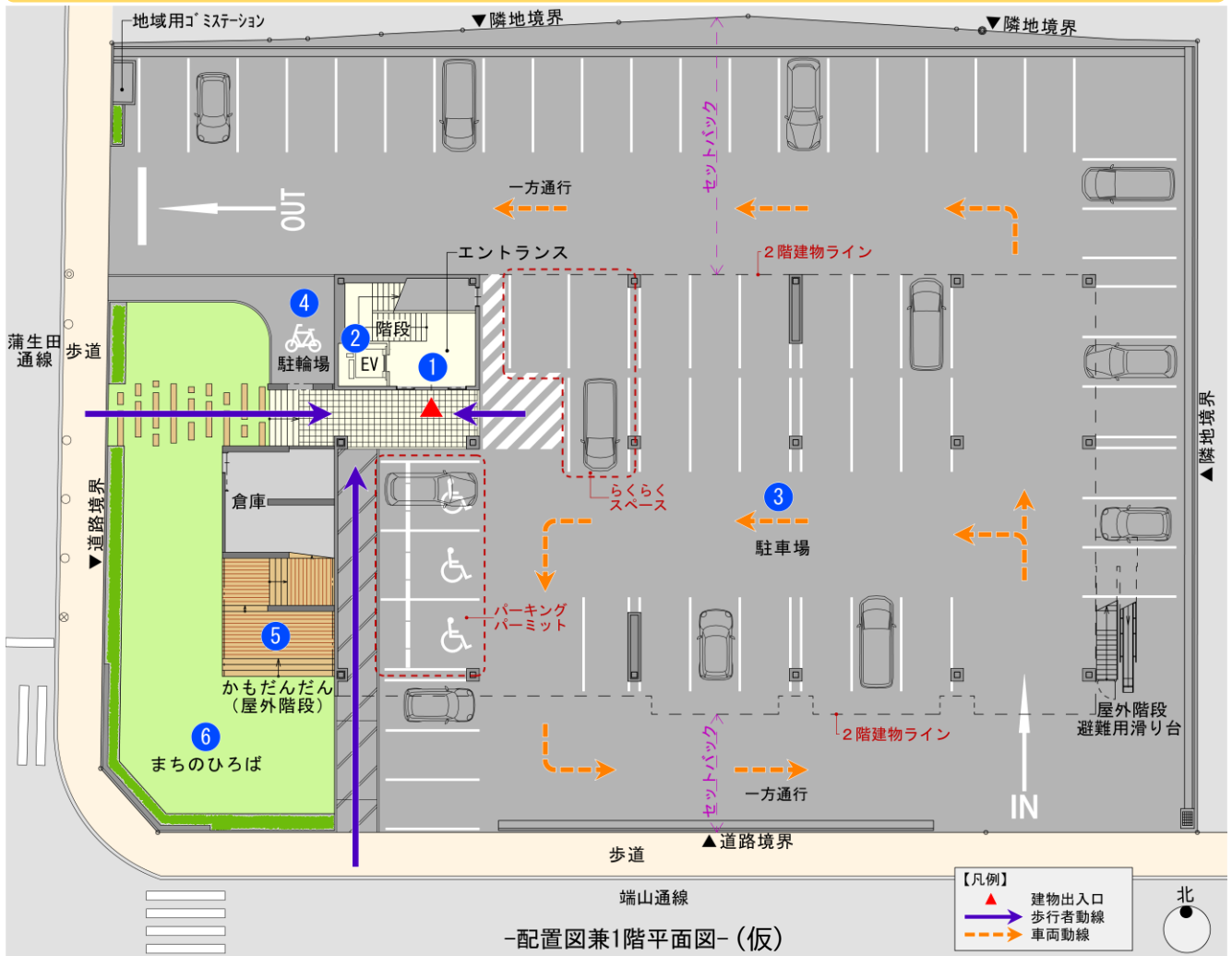
① 配置計画

- 隣接建物や道路から距離をとり、圧迫感を軽減し、採光・通風の確保を行い、安心感と開放感を両立させます。
- 1階を駐車場、2階に施設、基幹設備を配置することで浸水被害を防ぎます。

② 動線計画

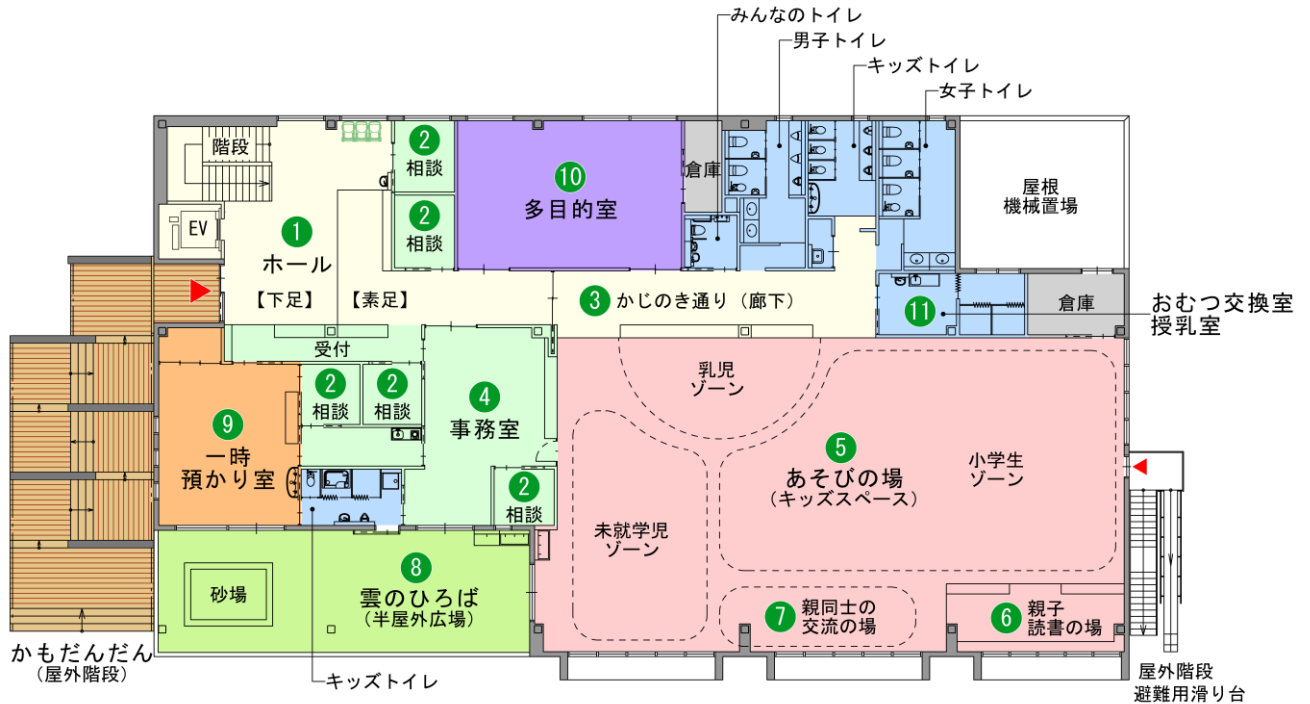
- 駐車場から建物へのアプローチの確保、南側と西側歩道からの歩行者専用動線、低木の植栽や加治木石で敷地境界を囲い、歩行者も車も安全な動線を確保します。

③ 1階平面計画



- ① エントランス:** 建物西側に2階へ繋ぐ出入口を設置します。西側道路、駐車場側、南側と3方向よりアクセスできます。
- ② 階段・エレベーター:** 幅が広く蹴上高を抑えて親子連れでも安全に昇り降りできる階段とし、エレベーターはバリアフリーに配慮した11人乗りを設置します。
- ③ 駐車場:** 交差点より離れた位置に車両の出入り口を設け、施設内は一方通行とします。「パーキングパーミット用」と幅の広い「らくらくスペース」は、2階への出入口近くに配置します。
- ④ 駐輪場:** 車両動線と交差しない配置とします。
- ⑤ かもだんだん(屋外階段):** 大きな遊具のような階段を設けます。街のひろばより、子どもたちが遊び・挑戦しながら楽しむことができる階段とします。地域のイベント時の観客席や浸水時の一時避難のルートになります。
- ⑥ まちのひろば:** 建物と街を繋ぐスペースを計画します。イベント等が行える交流・憩いの場を創出し、かもだ通り商店街とのイベント共同開催を検討するなど地域活性化に資する空間として整備します。

④ 2階平面計画



- 2階平面図 -

- ① **ホール・受付**: 受付カウンターを設けて、かもだんだん、屋内階段、エレベーターからの入室管理、施設案内、検温等を行います。靴の脱ぎ履きはこちらで行います。
- ② **相談室**: プライバシーに配慮し、分散させて配置します。仕切られた部屋の他、気軽に相談ができるコーナーを設置します。
- ③ **かじのき通り(廊下)**: 幅の広い見通しの良い空間として、それぞれの主要室へのアクセス通路と休憩スペースを兼ねます。
- ④ **事務室**: 玄関ホール・キッズスペースに近接させて、全体を見渡せて効率的な管理を行います。
- ⑤ **あそびの場(キッズスペース)**: 間仕切りのない広く天井の高い空間とし、発達や興味に合わせて体を動かすトランポリンのように弾むマット状の遊具や、アスレチック遊具、クライミングウォール、大型ブロックの組み立て遊具などを配置するなどして、天候に左右されず「はしる・とぶ・のぼる」など身体を様々に動かして遊ぶことができる空間として遊具等の整備することを検討します。また年代別のゾーニングは遊具等により行う計画としています。
- ⑥ **親子読書の場(キッズスペース内)**: 陽の当たるあたたかな場所で絵本、児童書を中心に、多様な書籍が揃った空間で、親子でゆったりとくつろぎながら読書や読み聞かせを楽しむことができます。
- ⑦ **交流の場(キッズスペース内)**: 保護者にとって、子どもの成長の発見の場や親同士の交流の場となり、キッズスペースの全体を見渡すことができます。
- ⑧ **雲のひろば(半屋外広場)**: キッズスペースから連続したエリアとなっており、雨の日や日差しの強い日でも、季節を感じながら屋根の下で快適に遊ぶことができます。
- ⑨ **一時預かり室**: 動線や時間外の利便性を考慮して、建物出入口、事務室に近接して配置します。
- ⑩ **多目的室**: 各種教室や会議・研修など市民や職員が多目的に利用できるスペースとします。災害・浸水時には避難待機室に転換できます。
- ⑪ **おむつ交換室・授乳室**: 効率的な動線を考慮し隣り合わせに設置し、おむつ交換台、流し台、授乳用ブースを設置します。

3. 立面計画

- 始良市は、歴史的に由緒ある地で後世に残すべき伝統や文化が多くあります。そして現在、県内でも人口が増加している自治体で、子ども達の数も増加しており、子育て世代が多い地域です。始良市の子ども達や保護者が集まりやすい、地域を見守り続ける大樹のような施設を目指し、「子育て、交流を地域で見守り、子ども達が育つまで」をデザインコンセプトとします。
- 境界線からセットバックし、街のひろばを設けることで、圧迫感を軽減し、ゆとりある街並み・景観を創出し、周辺環境に配慮します。
- 修繕の頻度を削減するため、防汚性の高い外装材、清掃メンテナンスのし易い形状の建材を選定します。



4. 植栽計画

- 日陰、落葉等によって周辺地域へ支障を及ぼさないよう配慮し、周辺環境と調和し良好な景観が構成されるよう計画します。
- 土地的・気候的条件を考慮し、有毒・有害寄生虫の有無に留意した植栽を選定します。

5. 構造計画

- 災害時、妊婦・乳幼児連れ親子など特別な配慮が必要な方の受け入れる「福祉避難所^{*4}」として活用が検討できる構造を維持し、継続できる計画とします。

- ・規模 地上 2 階建て
- ・構造種別 鉄骨造
- ・架構形式 ラーメン構造
- ・基礎形式 杭基礎

6. 感染症対策について

- 【飛沫感染に関して】
 - 換気バランスの良い大きさの開口部を配置し、換気の悪い密閉空間をつくらず、主要な室を外壁面に配置し、自然換気で空気の流れをつくります。
 - 雨天時、降灰時には自然換気は期待できないため、機械による換気や CO₂ センサー付きロスナイ機の採用を検討します。
- 【接触感染に関して】
 - 各所に手洗い場所を設置し、WC 内換気扇スイッチは、利用者が入り切りできない位置に設置します。
 - 手洗い・便器等はセンサー式とし、便器蓋は非接触とし蓋が閉じて洗浄を行える器具を選定します。
 - モノに付着したウィルス対策として、自動ドア、エレベーターの非接触ボタンなどの採用を検討します。
 - 遊具、家具等には消毒等により変色変形しないものを選定し、単純な形状・構造とし、清掃しやすいものとし、
 - 適度な間隔を保てる空間構成とし、3密を避けるなど新しい生活様式を実践する施設とします。

7. 設備計画

① 電気設備概要

受電方式	架空引込(低圧引込) 電灯:単線三相, 動力:三相三線
発電設備	停電用単相出力発電機(ポータブル)
電灯設備	LED照明 (人感センサー、明るさセンサー制御)
情報通信設備	映像音響設備(多目的室)、 誘導支援設備(みんなのトイレ)、 電話設備(構内交換機)、放送設備 テレビ共同受信設備
防犯設備	監視カメラ設備
消防設備	自動火災報知機設備、 誘導灯

② 空調換気設備概要

空調設備	ビル用マルチエアコン室内機
換気設備	全熱交換器による第一種換気方式 排気ファンによる第三種方式
排煙設備	自然排煙の為機械排煙はなし

③ 給排水衛生設備概要

給水設備	水道直結方式
給湯設備	局所式(電気温水器)
排水設備	屋内:汚水+雑排水(合併処理浄化槽) 屋外:自然流下
衛生器具設備	節水型衛生器具
消火設備	消火器、粉末消火設備、 屋内消火栓設備

④ 昇降機設備概要

乗用エレベーター 11人乗り1台

8. 運営計画

① 管理運営体制

設置者	始良市
運営形態	市の直営施設とします。なお、サービスの向上と経費の縮減を図るため、実施事業の一部業務委託を検討します。
利用料金	一時預かり事業については市内他施設の状況や他市の類似施設等を勘案し、適切な利用料金を設定します。
維持管理	施設の適正な維持管理だけでなく、多くの子育て世帯にとって魅力ある施設であり続けることを常に念頭に置き、利用者の満足度に留意した運営を行います。
ウィズコロナ	入館時の検温や問診、入退室管理、換気等により3密を回避するなど新しい生活様式の実践、定期的な消毒の実施により、誰にとっても安全で安心な施設運営を行います。

② 実施事業

- ・地域子育て支援拠点事業
 - 1 天候にかかわらず安全に、そして気兼ねなく子どもたちが遊ぶことができる場所の提供
 - 2 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進
 - 3 子育て等に関する相談、援助の実施
 - 4 地域子育て関連情報の提供
 - 5 子育て及び子育て支援に関する講習会等の実施
 - 6 子育て関係機関や子育て支援活動を行っているグループ等と連携するためのネットワークの形成
- ・一時預かり事業
保護者の就労や疾病、育児負担の軽減など、事由にかかわらず乳幼児を一時預かる事業
- ・利用者支援事業
教育や保育といった地域の子育て支援事業を円滑に利用できるよう寄り添い型で行う支援事業

用語解説

- *1 **ユニバーサルデザイン**:文化・言語・国籍や年齢・性別・障がいの有無に関わらず、多くの人が利用できることを目指した設計(デザイン)や考え方。
- *2 **パーキングパーミット**:身障者用の駐車施設を必要とする人に利用証(許可証)を交付して、駐車車両を識別できるようにして許可車両以外の不正駐車を防ぐ制度。鹿児島県では「身障者用駐車場利用証」を交付。
- *3 **フォースター**:シックハウス症候群を引き起こす原因物質とされているホルムアルデヒドの放散量が0.12mg/l以下の製品でのみ取得できる、ホルムアルデヒド等級の最上位規格を示すマーク。
- *4 **福祉避難所**:災害時要配慮者(主として高齢者、障がいのある人、乳幼児その他の特に配慮を要する者)のための避難所のことであり、一般の避難所では生活することが困難な要配慮者が、避難所での生活において特別な配慮が受けられるなど、要配慮者の状況に応じて安心して生活ができる体制が整備された施設。